

<指導案一覧> ※各指導案及びスマイルアンケートをクリックすると、指導案やワークシートなどがダウンロードできます。

多様性を認め合うことに関する授業

A	様々な特性がある人の困りを知り、関わり方を考える
指導案①	『なにかできるかな？なにができるかな？』
ねらい	様々な特性や困りのある子どもたちがいることに気づき、その子どもたちの気持ちや願いを考慮を通して、見ようとしなければ見えないことがあることに気付くことができるようにする。
指導案②	『なにかできるかな？なにができるかな？』 ※実施の際には指導案A①の後に行う。
ねらい	様々な特性や困りのある子どもがそれぞれに困っている場面で、何かできることはないか、何ができるかを考えることができるようにする。
指導案③	『ともに生きる ～なにかできるかな？なにができるかな？～』
ねらい	学校生活の場面で、周囲の理解が得られずに困っている子どもの気持ちを想像し、よりよい関わりについて考えることができるようにする。
B	多様な他者と共によりよく生きていくために大切なことを考える
指導案①	『ともに生きる ～人それぞれの違いから考えよう～』 ※実施の際には指導案A③の後に行う。
ねらい	障害の疑似体験をしたり困りのある人の思いに触れたりすることを通して、人によって困難さや感じ方が違うことを知り、自分と異なる人と共によりよく生きるために大切なことは何かを考えることを通して、自分と異なる人を分かりたいと思う気持ちをもつことができるようにする。

自分の気持ちとの付き合い方に関する授業

C	ストレスについて知り、その対処法を考える
指導案①	『自分の気持ちと付き合い方 ～不安、悩み、怒り、緊張等への対処法～』
ねらい	不安、悩み、怒り、緊張等への対処法について話し合うことを通して、様々な対処法があることを知り、自分に合った方法で対処することへの理解と意欲を高めることができるようにする。
指導案②	『見付けよう！モヤモヤした嫌な気持ちへの対処法』
ねらい	気持ちを言葉で表現することや、嫌な気持ちになったときの対処法について学ぶことを通して、クラス内で共有した「気持ちをすっきりさせる様々な方法」を、日常生活で試そうとする態度を身に付けることができるようにする。
D	認知の仕方を考える
指導案①	『自分の気持ちと付き合い方 ～不安、悩み、怒り、緊張等をためない考え方～』
ねらい	提示された場面において、様々な考え方があることに気づき、どのような考え方をすれば気持ちを楽にすることができるのかを考える活動を通して、自分を振り返る、他の原因を考える、受け止め方を見直すなどの不安、悩み、怒り、緊張等をためない考え方のよさに気付くことができるようにする。
指導案②	『自分の気持ちと付き合い方 ～見方を変えることのよさに気付こう～』
ねらい	自分の短所と捉えていることなどをリフレーミングすることを通して、見方を変えることのよさに気付くことができるようにする。
E	リラックス法を身に付ける
指導案①	『リラックスにはどんな効果があるの？』
ねらい	イライラした感情への対処法の一つとしてリラクゼーション法があることを知り、体験を通して心身がリラックスすることを実感することで、自分の気持ちと上手に付き合い方とすることができるようにする。
F	相談する力を身に付ける
指導案①	『学ぼう！自分では解決できない相談を大人につなげるスキル』 ※実施の際には指導案C②の後に行う。
ねらい	心が苦しくなったときの相談の切り出し方、相談の聞き方、大人へのつなぎ方を学ぶことを通して、誰かに相談したり、助けを求めたりすることができるようにする。

振り返りの授業

G	よりよい人間関係の構築のために大切なことは何かを考える
指導案①	『これまでの学習を振り返ろう』 ※実施の際には、「自分の気持ちとの付き合い方に関する授業」もしくは「多様性を認め合うことに関する授業」のどちらか一つ、又は、両方を行った後に行う。 ※「振り返りの授業」では、それまでに行った授業のワークシートを使用する。
ねらい	誰もが楽しく過ごすために大切なことを考えたり、これまでの学習や自分のめあて（行動目標）を振り返ったりする活動を通して、よりよい人間関係を構築するための自分に合ったこれからのめあてを設定し、実践しようとするようにする。

【スマイルアンケート】

日常生活の様子を児童一人ひとりが振り返るアンケートです。事前にアンケートを実施し、その結果を授業で活用したり、授業後に実施して授業による児童の変容を見たりすることができます。

【Fit(生活アンケート)】

山口県教育委員会では、児童生徒を多面的に理解するツールとして、「適応感」を測定する「Fit(生活アンケート)」を山口大学との連携により作成しました。簡便な25問のアンケート調査により、数値入力だけで、学業、対人、環境等の適応状況が表とグラフで分析・表示されます。定期的の実施することで児童生徒の状態の変化を把握できるなど、幅広く児童生徒理解に活用できます。(アクセスはこちら → URL <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26681.html>)